

**秋田市
少年指導委員
研修会開催**

令和元年10月25日（金）、中央市民サービスセンターで「秋田市少年指導委員研修会」を開催しました。

始めに、秋田中央警察署生活安全課の高橋優子さんから「少年非行を含む問題の実態等について」と題して、情報提供をしていただきました。続いて、株式会社NTTドコモ東北支社スマホ・ケータイ安全教室インストラクターの高橋淳子さんから「子どもをトラブルから守るために」と題して、ご講演をいただきました。

「少年非行を含む問題の実態等について」 高橋 優子さん



現在の少年非行の現状と、インターネットに起因する問題や虐待について次のように分かりやすく説明してくださいました。

- * * * * *
- 近年は、外を巡回しても子どもたちを見かけることが少なくなり、子どもたちの問題行動は「アウトドア」から「インドア」へシフトしている。
- インターネットで問題行動を起こす子どもたちは、容姿などの見た目では分からなくなっている。
- 子どもたちを危険から守るために、保護者の管理と関係機関が連携したネットの有害環境の浄化活動と啓蒙活動が大切である。

「子どもをトラブルから守るために」 高橋 淳子さん



子どもたちをネットトラブルから守る術やスマートフォン、携帯電話を上手に使うための注意点について、次のように詳しく解説してくださいました。

- * * * * *
- 動画は静止画よりも情報が多いので注意が必要。例えば、一瞬でも電柱の番地標識が映っていれば、住んでいる場所を特定されたり、部活のユニフォーム姿で学校名が特定され、知らない人に待ち伏せされる危険がある。
- ネット上でやりとりしている相手が「まさかこんな所まで会いに来ないだろう」と思っていたのに、本当に会いにきてしまったという事例もある。
- 一度ネットに上げた情報は完全に消すことは不可能。おもしろ半分で動画を投稿し炎上してしまえば、その人物が特定され将来に悪影響を与える。
- SNSやオンラインゲームのグループから、仲間はずれにされたり、言葉のとらえ方でずれ違い、ネットいじめに発展したりする問題やスマホ・ケータイの長時間利用によるネット依存などの問題もある。
- 子どもを取り巻く社会環境には、インターネットは今や必要不可欠な道具（便利なツール）となってきている。「使わせない」のではなく「上手に使っていく」ことが求められる。
- そのためにはまず、自分（大人）がルールを守ること（歩きスマホをしないなど）、子どもたちに道徳を教え、マナーやルールをやらせること、「ネットリテラシー」（ネットコミュニケーション能力、検索での下調べ力、ネットトラブルへの対処力など）を高めることが必要である。

おつかれ様でした!

子供・若者育成支援強調月間(11月)キャンペーンを実施しました!

- ・小雨の中、7名の会員で南中の朝のあいさつ運動を行いました。
- ・運動も3年目となり、定着してきています。
- ・校長先生が先頭に立ちあいさつ運動を行っており、1~3年生も玄関前であいさつ運動を行っているのが印象的でした。
(中央第一地区 秋田南中学校)

- ・新屋駅前で、美大附属高等学院の生徒指導の先生と新屋交番の巡査のかた(2名)も参加していただき、声かけとグッズの配布を行いました。
- ・子どもたちは皆、元気良くあいさつを返してくれました。ただ、駅前には車、自転車、人…と見通しも悪く危険だなと感じました。
(西部地区 新屋駅前)



マックスバリュ (東部地区)

- ・マックスバリュとツタヤで行ったキャンペーンでは、家族連れが多く、あいさつを笑顔で返してくれたり、「ご苦労様」と言葉をかけていただいたり、感謝したところでありました。(東部地区 マックスバリュ、ツタヤ)

- ・あいにくの雨にあい、大変でしたが、約470名の生徒さんたちは元気に登校しておりました。特に問題はなく終了することができました。
(南部地区 御野場中学校)



- ・飯島南小学校の昇降口前であいさつ運動を実施。
- ・元気の良い返事があり、ポケットティッシュ(400枚)をほとんど配布しました。(土崎地区 飯島南小学校)

優良図書紹介コーナー

「〈世界に生きる子どもたち〉すごいね!みんなの通学路」

(文:ローズマリー・マカーニー 訳:西田佳子)

世界各国の子どもたちの通学路を写真で紹介した絵本である。その通学路は、私たちがイメージする通学路とは大きく異なり、川を歩いて渡るところや空中のロープをたぐりながら渡るところなど、命がけと思うような通学路がある。それでも、学校に通おうとする子どもたちの表情からは、学校に通える喜びが伝わってくる。そこには、夢や希望に向かうひたむきさも感じられ、勇気と元気を与えてくれる。世界を見渡せばまだ貧困等で学校に通えない子どもたちもあり、世界の状況や子どもたちの権利を考えるきっかけになる本である。

(平成29年7月出版)

《優良図書とは…青少年の健全な育成を図る上において有益であると秋田県知事が推奨した図書です》



わかくさ相談電話より

10月~12月の相談件数は4件でした。

わかくさ相談電話では、少年に関する悩みや心配事の相談に応じます。冬は気分が落ち込みやすい時期だといわれています。友達、学校、勉強、進路、家族のことなど、ひとりで悩まず相談してみたいかがでしょうか。来所も可能です。ぜひお気軽にご利用ください。

わかくさ相談電話
018-884-3868

お知らせ

- 1月31日(金) 代表者会議
(午後2時 センターズ・洋室4)
- 2月10日(月) 広報紙わかくさ16号 発行
- 2月10日(月) 運営協議会
(午後2時 センターズ・洋室4)

1月19日(日)は「冬の青少年健全育成運動」の重点目標のひとつ、「家庭の教育力向上」のための「あきた家族ふれあいサンサンデー」となっています。家族全員で時間をかけて食事をとりながら、家族の絆を深めてみてはいかがでしょうか。